

国際

こだいら



2006年
No.49

Kodaira International Friendship Association News



2006年7月9日（日）

こだいら国際交流フェスティバル

異文化交流・世界はひとつ



7月9日(日) KIFA最大のイベント、こだいら国際交流フェスティバル2006が開催されました。雨が心配されましたが、なんとか一日天気もち、出足は鈍かったものの正午近くからは多くの人々が訪れ大賑わいの会場となりました。

今年が目玉はアルゼンチンタンゴ。セクシーで激しいダンスと叙情たっぷりの歌にフロアからは何度も感嘆の声が上がりました。軽快な足さばきと、フロアを縦横無尽にクルクル舞う激しい動きのダンスには、小さな子供も目がくぎ付けでした。

会場のあちこちではストリートパフォーマンスも繰り広げられ、フェイスペイントやバルーンアートに子供だけでなく大人も嬉々としていました。

KIFAの日本語教室学習者によるスピーチでは、先生や家族の見守る中、皆臆することなく堂々と発表する姿が見られました。また少し、日本語上達に自信をつけた様子でした。

ドリンク&おしゃべりコーナーでは外国の人達との会話が弾み、どのテーブルも満席の大盛況でした。中国茶席の実演も行われ、その珍しさにこちらもまた大人気でした。

様々な世界の料理の模擬店も出て、おばけ屋敷、プラ板でのキーホルダー作り、お茶席、「七夕」がお題のいけばな体験や、おり紙など日本人外国人、大人も子供も問わず、思い思いに楽しい一日となりました。

平成18年度ボランティア連絡会幹事紹介 (役職、五十音順)

- ・代表幹事 佐賀 一郎 (情報提供コーナー)
- ・副代表幹事 江連 紀子 (世界の料理)
- 各グループの幹事は次のとおりです。
- ・機関紙発行 吉田倫美子
- ・国際子どもクラブ 村木加代子
- ・交流サロン 鈴木 千穂
- ・日本語会話教室(月) 佐々木恵子
- ・交流事業 岸上 忠史
- ・日本語会話教室(金) 住山 暁子
- ・国際交流パーティ 加藤 豊
- ・日本語会話教室(土) 大竹 徳子
- ・文化紹介事業 安達 晋

平成18年度協会役員・評議員の紹介

- 理事会
- 理事長 山之内照雄
 - 副理事長 安部 泰人 岡田 孝 松岡 芳夫
 - 理事 大森 道夫 小野 高一 奥村 秀 神石 實
 - 木村 優夫 酒井田達朗 土屋 国和 本元 久之
 - 監事 北 厚美 森下 幸一
- 評議員会
- 議長 中村登阿之進
 - 評議員 クアシ・チェイ・アモアベン 井上 房次 石塚 信治
 - 江連 紀子 太田アキラ 加藤 順子 加治屋さわみ
 - 柏谷 茂里 窪田 治 佐賀 一郎 篠島 弘一
 - 朱 海慶 高杉 喜平 田尻 健悟 長谷 喜平
 - ベル・デズモンド・トマス 山田 寛

平成17年度収支決算 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

○収入の部		(単位 円)
科目	決算額	
賛助会費収入	1,390,000	
補助金収入(市補助金等)	12,639,000	
寄附金収入	12,000	
積立金繰入	0	
事業収入	5,588,630	
雑収入(預金利息等)	16,005	
前年度繰越金	2,358,259	
収入合計	22,003,894	

○支出の部

科目	決算額
事業費	9,010,856
国際理解及び国際親善の普及事業	4,839,808
地域における友好交流事業	1,111,661
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	371,493
国際交流情報の収集及び地域への情報提供事業	2,239,740
その他協会目的達成事業	448,154
管理費(管理運営費)	10,348,322
積立金	550,000
予備費	0
支出合計	19,909,178

インタビュー アメリカ

国際子どもクラブの英会話講師を務めるパトリック・レディングさんに伺いました。

◎アメリカのどちらのご出身ですか？

カンザス州です。夏はとても暑くて冬はとても寒いです。雪は降りますが、平らな地形なのでスキーはできません。

◎いつ、どうして、日本にきたのですか？

6年前です。英語の先生になろうと思い、面接を受けて日本に来ました。初めは北九州で教えていました。それから山口県光市に引っ越しました。その後一旦アメリカに帰りました。そして、今度は東京に来ました。

◎日本の印象はいかがですか？

狭いですね。道幅が狭くて、家が小さいと感じました。山が多いですね。カンザスは砂漠が続いています。日本は街のすぐ後ろが山です。

◎日本人の印象はいかがですか？

とても優しいです。

◎日本の子供はどうですか？

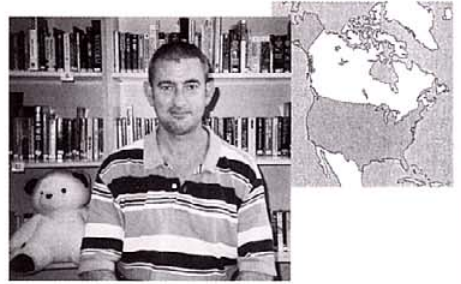
アメリカの子供と変わりません。子供は世界中みな同じですよ。

◎日本の食べ物は好きですか？

何でも好きです。寿司・焼鳥・焼肉などよく食べます。

◎アメリカではどんな物を食べますか？

アメリカ人はバーベキューが好きです。カンザスビーフは有名です。けれども今は日本へは輸出できませんね。



◎日本で困っていることは何ですか？

特にありません。ただ、雨が多いです。湿度が高いのがいやです。

◎日本で楽しかったことはありますか？

北海道を自転車で一周しました。帰りは日本海側をずっと自転車で走り帰って来ました。屋久島へも行ったことがあります。日本中を旅しています。

◎今後の予定はありますか？

最近声優の仕事や、コマーシャルへの出演の仕事などを始めました。もっとやってみたいです。日本にはあと1年はいるつもりです。

パトリックさんは日本語がお上手です。とてもわかりやすく話をしてくださいました。けれども、子どもクラブの英会話の授業では英語だけを使っています。子どもたちはつい日本語を使ってしまうのですが、日本語を使うと気持ちが先生に伝えられません。そのため子どもたちは英語をコミュニケーションの手段として使わざるを得ず、必然的に英語が上達していくようです。

世界の料理

韓国料理

6月23日(金)、中央公民館実習室にて、講師に李載蓮(イ ジェヨン)さんを迎え、韓国の家庭料理と文化紹介が行われました。李さんは来日4年目の小さなお子さんをお持ちの若いお母様、韓国人のご主人と結婚されてすぐに来日されました。参加者は男性6人を含む24人。李さんのデモンストレーションの後、6班に分かれ、それぞれ実際にチャプチェ、わかめスープ、コッジョリ(浅漬けキムチ)の三品を調理し、試食しました。参加者は、カナリエックゾツという韓国の調味料や、韓国春雨、韓国産の乾燥わかめなどの食材に興味津々、白菜を手を持って削ぎ切りにする李さんの包丁さばきに見入っていました。李さんは、こまめにテーブルを回り、質問に答えます。各班とも李さんのレシピをもとに手際よく仕上げていきます。そしてちょうどお昼前にボリュームいっぱいの韓国家庭料理が出来上がりました。



楽しい試食の後は、李さんが、ご主人の故郷で行われたお二人の結婚式のビデオや、記念アルバ

ムを披露、韓国の結婚式の様子やしきたりについて話されました。まるで韓国ドラマの一コマを見ているような映像や、美しい写真に、しばし時を忘れ、みな夢見心地でした。はつらつとして、率直な人柄の李さんに、参加者から活発に質問が出て、話は韓国の住宅事情から嫁姑問題にまで及び、あっという間に時間が過ぎて行きました。李さんの「日本に来て、『日本と韓国は違うのに、同じだ、と思いついてしまうところに問題がある』と気づきました。お互いを理解し合うよう努力しましょう。」とのメッセージが印象的でした。



交流サロン 手巻き寿司パーティー

6月10日(土)、手巻き寿司パーティーが行なわれました。日本人外国人あわせて約20名以上が集い、マイセルフで手巻き寿司を作って食べながら賑やかに楽しいひとときを過ごしました。

ファーストフード感覚の手軽さに、外国人の皆さんも大変気に入られたようでした。



国際こどもクラブ 異文化理解講座 フィリピン

6月10日(土)国際こどもクラブにて、小平市在住のフィリピン人、アルマンド・シンプラスさんによる異文化理解講座が行われました。

当日は4年生から6年生までの小学生17人が参加、まず、フィリピンの国や文化についてスライドを見ながら学習しました。スクリーンに青い海や火山、スペインの植民地時代の建物や、農村のだんだん畑の様子などが映し出されると、そのあまりの美しさに子供達の目はくぎ付けに。途中、子供達からあいさつ語について質問がでると、即席タガログ語講座が始まりました。「はじめまして、マグハイ。こんにちは、マガンダング ハボン。ありがとう、サラマツト。」英会話教室で鍛えているせいか、子供達はすぐに覚えてしまいます。

学習の後は、3チームに分かれてビーチサンダルリレーをしました。ビーチサンダルを腕にのせたり、頭にのせたり、時にはひざに挟んで片足けんけんしながらと、時々で運び方を変えて、4回戦いました。単純な様でいて、落さずに運ぶのはたいそう難しく、子供達からは歓声が上がっていました。つぎに輪ゴムを使っての1対1のゲームをして、お開きになりました。



最後は、みんなで「さよなら、パアラム」と言って別れました。終始笑顔を絶やさず、さわやかなシンプラスさんとの交流は子供達にとって素敵な思い出になったことと思います。

国際交流パーティー

誰でも参加できる国際交流パーティーが毎月1回KIFAで開かれています。お茶とお菓子でくつろぎながら、外国人、日本人、老若男女いろいろな人とおしゃべりできるのが魅力です。多い時には50人を超える人が集まることもあるというこのパーティーに、6月17日(土)にお邪魔してみました。この日は約30人が参加。インド、中国、フィリピン、マレーシアの方を囲んで、各テーブルで話が弾みます。大体、日本語堪能な外国人の方が多のですが、中には母国語もしくは英語しか話せないという方も。それでもなんとかなるもので、皆で通訳し合ったり、身振り手振りで通じ合ったりと、それぞれに交流を楽しんでいるのが伝わってきます。お国自慢、日本での生活、旅行話、趣味についてなどなど、外国人の方に聞いたり聞かれたり。時には日本人同士で盛り上がりたりして、長いはずの3時間があっという間に経ってしまいました。

まだ小さいお子さん2人に浴衣を着せて来られた初参加のお母さんからは「勇気を出して来て良かった。外国の方が子供連れで来られることもあるそうなので、また足を運んでみます。」という感想を頂きました。浴衣姿が大人気だった2人もご満悦の様子でした。次回はどんな人に会えるのか、また会える人はいるか、来月を心待ちに、名残り惜しくお開きになりました。



日本の家庭料理講習会 6月7日 (水)

今回のメニューは太巻き寿司。みつ葉を浮かべたワカメと豆腐のみそ汁も作りました。参加者は中国、インド、スリランカ、台湾の方々13人。太巻き寿司はスーパーマーケットでも手軽に買えるので、皆さんよく召し上がるのだとか。「美味しいし、見た目も綺麗なので大好き！パーティの時作って、みんなを驚かせたい。」との声多し。

同じアジアの国の人々とはいえ、食材は日本と大きく違うようで、講習が始まると皆興味津々。調味料の使い方を聞いたり、ダシのとり方に見入ったり、「この細長い茶色の紐は何でできているの??」……かんぴょうはこの日一番の不思議な食べ物だったようです。日本語の理解力も各人まちまちなので、まだよくわからない人には同郷の人が説明し、何か国語も飛び交いながら賑やかに、次々と巻き寿司が出来上がっていきました。最後には皆が巻き方のコツを覚えて完成。お皿に並べて、おめでたい桜湯も入れて、さあ試食です。「これ、私が巻いた分だ!」「いろいろな具が入っていて楽しいね。」「今度故郷に帰ったら家族に作ってあげたいです。すごく喜ぶと思います。」ニコリ笑顔で会話の弾んだ、和やかなひとときになりました。



中国語を学ぼう

6月5日~7月24日と9月4日~12月11日までの毎週月曜日(除祝・祭日)15時~16時30分まで全20回に亘り、中国語教室を開講している。受講生は15名、取材当日は第3回目(王紅先生)で出席者10名であった。講師は在日6年になられる王紅先生、日本語もお上手でいらっした。

受講生はまず発音の勉強、教科書に沿って一人ずつ発音させておられた。中国語は同じ文字でも4通りの発音があり、アクセントの違いによって全く意味の異なる言葉になるので発音の勉強が大切である。次に受講生は先生の仰言った言葉を各自のノートに記していた。書くことも各自の学習をより確かなものにするために大切なことである。戦後は中国も日本と同様、漢字を簡単に書くようになり指導しやすくなったとのことであった。最近では中国語の必要性もふえたが、受講生達は20回の授業を受けて中国語の正しい発音、読解力、書き方等をよく会得して行くものと期待している。



編集後記

ここまで、かわったのかと思つたのは韓国料理を取材したときのことです。春雨をゆでるときは、ぐらぐらお湯がわいてからぐらぐらせるのですよ!と、若い先生が大声で注意されても水に春雨を入れてガスに火をつけているかなり年輩の方や若い人がいるのにびっくりしました。ほうれんそうをゆでるときでも、お湯をわかしてからなのに。

韓国の家庭料理と文化を取材しながらもつくづく考えました。(T)

発行日 平成18年8月1日

発行 小平市国際交流協会 編集 機関紙グループ

小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター3階
〒187-0045 ☎042-342-4488/FAX.042-347-3003

小平市国際交流協会のインターネットもご利用ください

E-mail : info@kifa-tokyo.jp Homepage : http://www.kifa-tokyo.jp/